商品有高帳

【重要性：A】

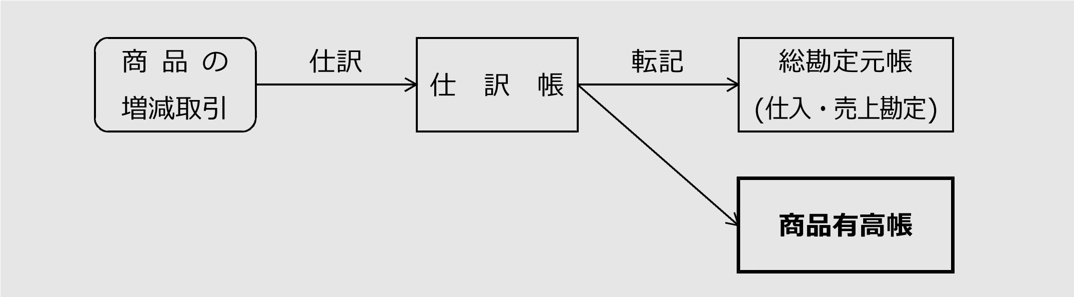
ＰＯＩＮＴ！

①　商品有高帳の記入のルールを覚え、記入できるようにしよう！

②　商品有高帳から情報を読み取り、仕訳を行えるようにしよう！

③　総勘定元帳（「仕入」勘定、「売上」勘定）との関係に注意しよう！

商品の種類ごとの受入や払出などの明細を記録するための補助簿（補助元帳）を、**商品有高帳**といいます。仕訳帳と総勘定元帳への記帳のほかに、**商品の原価**に関する取引が商品種類別の商品有高帳に記帳されます。



商品有高帳は以下の手順で記入します。

① 日付欄には、取引が行われた日を記入します。

② 摘要欄には、取引の内容を簡潔に記入します。

③ 受入欄には、受け入れた商品の数量、単価、金額（＝単価×数量）を記入します。

④ 払出欄には、払い出した商品の数量、単価（仕入単価）、金額を原価（取得原価）で記入します。売価ではないので注意して下さい。

⑤ 残高欄には、取引後の数量、単価、金額を記入します。

⑥ 月初には摘要欄に「前月繰越」と記入し、月初の商品の数量、単価、金額を受入欄に記入します。また、月末には摘要欄に「次月繰越」と記入し、月末残の商品の数量、単価、金額を払出欄に記入します（赤字で書きますが、試験では黒で記入します）。

⑦ 受入欄と払出欄の合計金額を記入し（両者は一致します）、二重線（締切線ともいいます）を引いて締め切ります。

商　品　有　高　帳

日付		摘要	受　入			払　出			残　高		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
9	1	前月繰越	20	100	2,000				20	100	2,000
	5	仕　　入	30	100	3,000				50	100	5,000
	10	売　　上				40	100	4,000	10	100	1,000
	15	仕　　入	50	100	5,000				60	100	6,000
	20	売　　上				45	100	4,500	15	100	1,500
	30	次月繰越				15	100	1,500			
			100		10,000	100		10,000			

この商品有高帳から読み取れる9月の取引に関する仕訳は以下のとおりです。なお、商品売買はすべて掛取引とし、売価は@150と仮定します。

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
9／5	仕入	3,000	買掛金	3,000
10	売掛金	6,000	売上	6,000
15	仕入	5,000	買掛金	5,000
20	売掛金	6,750	売上	6,750

9/10 売上金額：@150×40個＝6,000

9/20 売上金額：@150×45個＝6,750

また、この商品有高帳から読み取れる9月の取引に関する「売上」勘定、「仕入」勘定の記入は以下のとおりです。

売　上

日付		摘要	仕丁	借方	日付		摘要	仕丁	貸方
			省		9	10	売掛金	省	6,000
			略			20	売掛金	略	6,750

仕　入

日付		摘要	仕丁	借方	日付		摘要	仕丁	貸方
9	5	買掛金	省	3,000				省	
	15	買掛金	略	5,000				略	

固定資産台帳

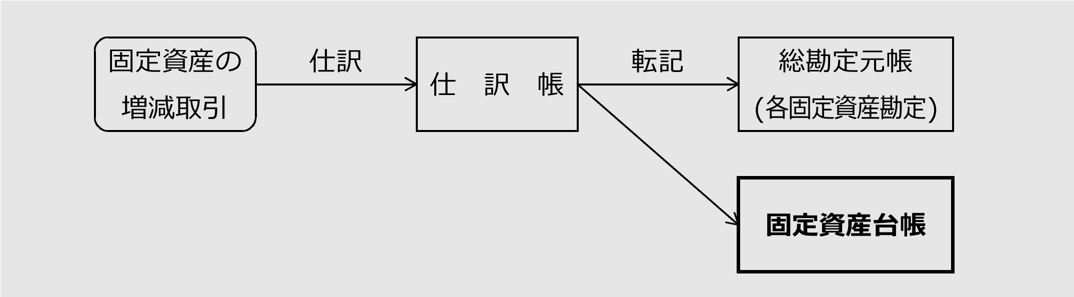
【重要性：B】

ＰＯＩＮＴ！

①　固定資産台帳から情報を読み取り、仕訳を行えるようにしよう！

②　総勘定元帳（各固定資産勘定、「減価償却累計額」勘定）との関係に注意しよう！

固定資産台帳とは、所有する固定資産を管理するために作成する補助簿（補助元帳）です。



固定資産台帳は以下の手順で記入します。

① 取得年月日には、固定資産の取得した年月日を記入します。

② 名称欄には、固定資産の名称を記入します。

③ 数量欄に、固定資産の数量を記入します。

④ 耐用年数欄には、固定資産の耐用年数を記入します。

⑤ 取得原価欄には、固定資産の取得原価を記入します。

⑥ 期首減価償却累計額欄には、期首における減価償却累計額を記入します。

⑦ 差引期首帳簿価額欄には、期首における帳簿価額（取得原価－期首減価償却累計額）を記入します。

⑧ 当期減価償却費欄には、当期の減価償却費を記入します。

⑨ 期末帳簿価額欄には、期末における帳簿価額（差引期首帳簿価額－当期減価償却費または、取得原価－期末減価償却累計額）を記入します。

固　定　資　産　台　帳　　×5年3月31日現在

取得年月日	名称	数量	耐用年数	取得原価	期首減価償却累計額	差引期首帳簿価額	当期減価償却費	期末帳簿価額
備品								
×1年4月1日	備品A	1	5年	100,000	60,000	40,000	20,000	20,000
×3年10月1日	備品B	2	6年	180,000	15,000	165,000	30,000	135,000
×4年7月1日	備品C	3	8年	400,000	0	400,000	37,500	362,500
小　計				680,000	75,000	605,000	87,500	517,500

この固定資産台帳から読み取れる当期（×4年4月1日～×5年3月31日）の仕訳は以下のとおりです。備品の購入代金は当座預金により支払ったものとします。

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
7／1	備品	400,000	当座預金	400,000
3/31	減価償却費	87,500	備品減価償却累計額	87,500

また、この固定資産台帳から読み取れる「備品」勘定、「備品減価償却累計額」勘定の記入は以下のとおりです。

備　　品

日	付	摘要	仕丁	借方	日	付	摘要	仕丁	貸方
4	1	前期繰越	省	280,000	3	31	次期繰越	省	680,000
7	1	当座預金	略	400,000				略	
				680,000					680,000

備品減価償却累計額

日	付	摘要	仕丁	借方	日	付	摘要	仕丁	貸方
3	31	次期繰越	省	162,500	4	1	前期繰越	省	75,000
			略		3	31	減価償却費	略	87,500
				162,500					162,500

帳簿組織③ 問題

問題1 **以下の受取手形記入帳と支払手形記入帳から読み取れる仕訳を行いなさい。**

受 取 手 形 記 入 帳

日付		手形種類	手形番号	摘 要	支払人	振出人または裏書人	振出日		満期日		支払場所	手 形 金 額	てん末		
							月	日	月	日			月	日	摘 要
2	9	約手	22	売 上	A社	A社	2	9	5	9	x銀行	50,000	5	9	当座入金
8	3	約手	77	売 掛 金	A社	A社	8	3	9	9	x銀行	40,000			

支 払 手 形 記 入 帳

日付		手形種類	手形番号	摘 要	受取人	振出人	振出日		満期日		支払場所	手 形 金 額	てん末		
							月	日	月	日			月	日	摘 要
3	3	約手	25	仕 入	B社	当社	3	3	7	7	x銀行	28,000	7	7	当座支払
6	1	約手	29	買 掛 金	D社	当社	6	1	9	1	x銀行	42,000			

帳簿組織③ 答案用紙

問題1

	借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
2/9				
3/3				
5/9				
6/1				
7/7				
8/3				

帳簿組織③ 解答解説

問題1 **解答**

	借方科目	金額	貸方科目	金額
2/9	受取手形	50,000	売上	50,000
3/3	仕入	28,000	支払手形	28,000
5/9	当座預金	50,000	受取手形	50,000
6/1	買掛金	42,000	支払手形	42,000
7/7	支払手形	28,000	当座預金	28,000
8/3	受取手形	40,000	売掛金	40,000

問題1 **解説**

受取手形記入帳から読み取れる仕訳は以下のとおりです。受取手形記入帳のてん末欄に注意して下さい。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
2/9	受取手形	50,000	売上	50,000
5/9	当座預金	50,000	受取手形	50,000
8/3	受取手形	40,000	売掛金	40,000

支払手形記入帳から読み取れる仕訳は以下のとおりです。支払手形記入帳のてん末欄に注意して下さい。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
3/3	仕入	28,000	支払手形	28,000
6/1	買掛金	42,000	支払手形	42,000
7/7	支払手形	28,000	当座預金	28,000